

# 「JEITAベンチャー賞」受賞6社が決定

— Society 5.0の実現に向けた、ベンチャー企業との共創・連携を促進 —



電子情報技術産業協会 (JEITA) では、Society 5.0の推進、及びCPS/IoTの社会実装による新たなビジネスの創出によって、IT・エレクトロニクス業界がさらに発展することをめざし、事業を展開しています。JEITA「ベンチャー賞」は、その取り組みの一環として、JEITA会員とスタートアップ (優良ベンチャー) 企業との新たなパートナーシップの共創・連携を推進するため、2016年に創設され、今般、第3回「JEITAベンチャー賞」が選考されました。

JEITAベンチャー賞は、今後の成長性が見込まれる「成長性・先導性」、社会へ大きな影響を与えると考えられる「波及性」、そして様々な社会課題に貢献しうる「社会性」の3本柱を選定基準とし、学識経験者等で構成する審査委員会において、電子情報技術産業の総合的な発展、経済発展に貢献しうるベンチャー企業を審査・選考し、表彰するものです。

第3回「JEITAベンチャー賞」では、昨年の12月11日から本年2月1日まで約1カ月半にわたり募集した後、厳正な審査の結果、6社の受賞が決定し、3月14日に開催された表彰式でJEITA会長の長榮周作より表彰状が贈呈

されました。

受賞した6社のベンチャー企業は、JEITAホームページ等で紹介するとともに、Society 5.0の実現をめざすCPS/IoTの総合展「CEATEC JAPAN」への出展、JEITA会員企業との交流支援、また昨年度からスタートした「ベンチャー優遇特例制度」(受賞企業等が正会員として新規に入会する場合、申請により協会会費の負担を2年間免除する仕組み)などを活用していただくことが可能となります。

今後もJEITAでは、Society 5.0の実現に繋がる活動への取り組みとして、業種の枠を超えた共創・連携を促進し、わが国の経済・社会の発展に貢献すべく新たなビジネスの創出をめざしてまいります。

## 株式会社アスター

### 審査評価

(株)アスターは、独自の積層技術を用いた理想的なモータコイルの形状設計により、従来の1.5倍の高密度化を実現するとともに放熱性にもすぐれた「アスターコイル」を実用化した。これは、モータの高出力化・小型化



につながり、車載用モータばかりでなく、航空宇宙、家電、発電など様々な分野への適用により省エネルギー効果や産業競争力の強化が期待される。

#### 株式会社ABEJA

##### 審査評価

(株) ABEJAは、小売業に向けた店舗解析ツールを提供している。AI (ディープラーニング) 技術を駆使したビッグデータ解析を実行することを特徴とする。カメラ画像から顧客数・顧客年齢・顧客の店舗内導線の歩き方などを分析、さらには天気・地理情報なども加味したうえで、店舗の業務改善の在り方を提案する。店員の感覚・ノウハウに頼ることなく、科学的なデータに裏打ちされた店舗設計が可能になる。IT専門家のいない中小店舗でも、AI利活用が推進するほか、海外への事業展開も期待される。

#### Hmcomm株式会社

##### 審査評価

Hmcomm (株) は、産総研で開発された音声認識技術を実用化し、音声認識に特化したAIプラットフォームによるソリューション・サービスを提供している。窓口やコールセンター等での対人業務における会話のテキスト化、無人の音声受付等が実現可能である。また、騒音環境下での音声認識が優れており、車両や工場・プラントの機械装置のAI異音検知による故障検知や予知への活用が可能である。今後、「音声ビッグデータ」のビジネスリソースとしての利活用への貢献が期待される。

#### 株式会社ZenmuTech

##### 審査評価

(株) ZenmuTechは、暗号化技術と、分散技術を組み合わせた「秘密分散処理」により、情報の漏洩防止を可能にするソリューションやデバイスを提供している。

データ生成時にデータをブロックに分割して、各々を暗号化させることと、暗号化されたブロックを複数の異なるデバイスに分散配置することにより、情報漏洩を事実上不可能にしている。この秘密分散処理に基づいたソリューションは、近年頻発するサイバー攻撃に対しての強い防御手段となる、シン端末やIoTデバイスの一層の利用普及が可能となる。

#### PGV株式会社

##### 審査評価

PGV (株) は、大阪大学で発明された微小信号処理技術とフレキシブルエレクトロニクス技術をベースに、パッチ式脳波センサの製造・販売および脳情報ビッグデータを活用した脳波ビジネスを提供している。PGV (株) が手がける小型で無線計測可能なシート型脳波センサ (厚さ6mm、重さ24g) は、既存の大型特殊装置と同等レベルの計測精度を実現し、脳波計測を誰でも手軽に行える身近なものにして、医療・ヘルスケア・睡眠・注意力モニタリング・ニューロマーケティングなど、今後幅広い領域での発展が期待できる。

#### 株式会社フォルテ

##### 審査評価

(株) フォルテは、骨伝導ヘッドセットなどによる騒音環境下等での音声ソリューション及び車両等の移動体や人の管理のための位置情報ソリューションを提供するIoT端末の開発を行なっている青森県に拠点を置くベンチャーである。地域拠点の特性を生かし、自治体や観光業者との連携により地域産業の振興につながるサービスの社会実装の実証に取り組んでおり、今後地方発からEXITをめざすベンチャーのロールモデルとしても期待される。